

Trend Micro Apex One
インストールマニュアル
[Mac OS 用]

作 成 : 2018年 12月

改 訂 : 2021年 11月

情報化推進機構

目次

1 Trend Micro Apex One (Mac) のご利用にあたって	1
1.1 インストール対象機器及び対象者	1
1.2 提供ソフトウェア	1
1.3 システム要件	1
1.4 注意事項	2
2 Trend Micro Apex One (Mac) のインストール	3
2.1 インストール	3
2.2 Trend Micro Apex One (Mac) のアップデート	15
3 Trend Micro Apex One (Mac) の利用について	17
3.1 ウイルススキャン	17
3.2 Trend Micro Apex One (Mac) のライセンス認証について (年 1 回)	18
4 トラブルシューティング	18
5 Trend Micro Apex One (Mac) のアンインストール	19
アンインストール後の確認	22
お問い合わせ	22

1 Trend Micro Apex One (Mac) のご利用にあたって

関西学院大学・聖和短期大学(以下、大学)の教職員・学生は在籍期間中に限り

Trend Micro Apex One (Mac) を 無償でインストールして利用することが可能です。

1.1 インストール対象機器及び対象者

対象機器：大学に在籍する教職員・学生個人の所有する PC

対象者：大学に在籍する教員（非常勤教員は除く）・職員（派遣職員・業務委託は除く）・
学生（正規学生）

1.2 提供ソフトウェア

Trend Micro Apex One (Mac)

1.3 システム要件

対応 OS

macOS Mojave 10.14

macOS Catalina 10.15

macOS Big Sur 11.0

※学内ネットワークにて利用できる OS に準ずる

PC スペック

CPU : Intel Core シリーズプロセッサ搭載の Mac
M1プロセッサ搭載のMac

メモリ : 2GB 以上

ディスク : 512MB 以上

※詳細なシステム要件は下記のサイトでご確認ください。

https://www.trendmicro.com/ja_jp/business/products/user-protection/sps/endpoint.html

1.4 注意事項

**Trend Micro Apex One (Mac) をインストールするには、
学内ネットワーク(学内無線 LAN など)に接続する必要があります。**

※学内無線 LAN(KGU-WLAN)の設定方法については、以下の URL を参照ください。

https://ict.kwansei.ac.jp/guide/campus_network/1906307/

また、年に1度、学内ネットワークに接続して学内の Trend Micro Apex One (Mac)
サーバーと通信をしてライセンスの認証をする必要があります。

※詳細は、「[3.2 Trend Micro Apex One \(Mac\) のライセンス認証について \(年1回\)](#)」を参照ください。

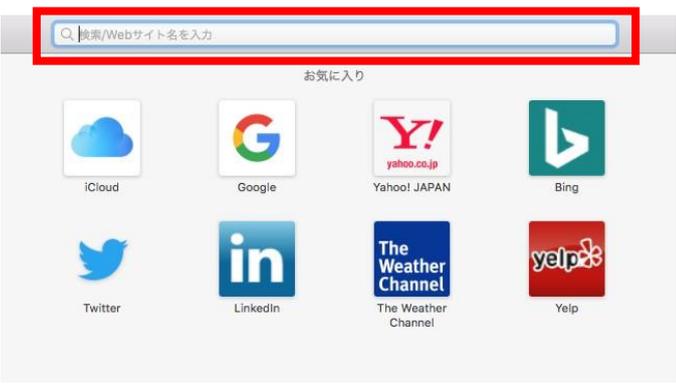
2 Trend Micro Apex One (Mac) のインストール

2.1 インストール

※現在、インストールされているウイルス対策ソフト(体験版含む)は、
事前にアンインストールしておいてください。

※以下の手順はmacOS Big Sur 11.6 にて説明しています。

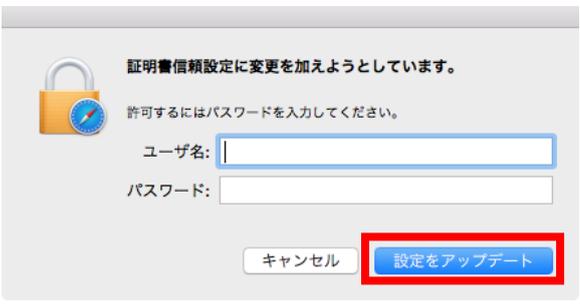
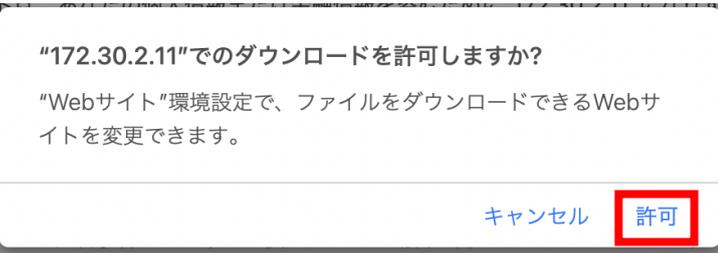
『インストーラーのダウンロード』

	<p>Safari を起動し、画面上部のアドレスバーに以下のURLを入力して[Enter]キーを押します。</p> <p>https://172.30.2.11:4343/officescan/console/html/TMSM_HTML/ActiveUpdate/ClientInstall/tmsminstall.zip</p> <p>※インストールする際は、必ず <u>学内ネットワークに接続した状態で 行ってください。</u></p>
---	---

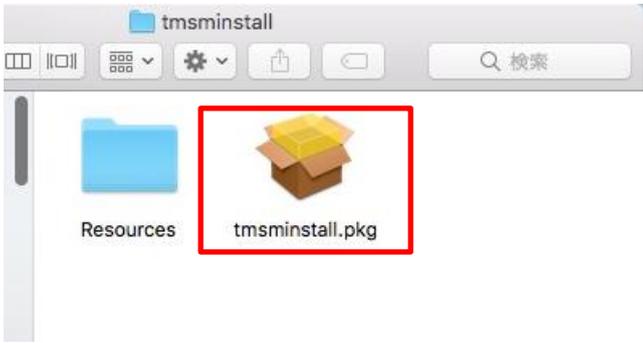
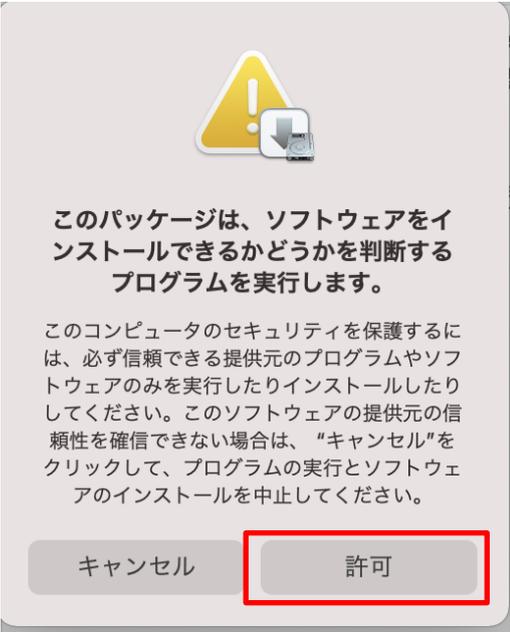
※下記のような画面が表示された場合は、以下手順を行ってください。

表示されない場合はP.5の『[インストール](#)』へ進んでください。

	<p>[詳細を表示]をクリックします。</p>
	<p>詳細の[このWebサイトを閲覧]をクリックします。</p>

 <p>このWebサイトをプライベートではない接続で閲覧してもよいですか？</p> <p>これを許可するには、システムの設定の変更が必要になります。</p> <p>Webサイトを閲覧</p> <p>キャンセル</p>	<p>「この Web サイトをプライベートではない接続で閲覧してもよいですか？」と表示された場合、 [Web サイトを閲覧]をクリックします。</p>
 <p>証明書信頼設定に変更を加えようとしています。</p> <p>許可するにはパスワードを入力してください。</p> <p>ユーザ名: <input type="text"/></p> <p>パスワード: <input type="password"/></p> <p>キャンセル 設定をアップデート</p>	<p>[ユーザ名]と[パスワード]に、Mac の管理者ユーザーの名前とパスワードを入力し、 [設定をアップデート]をクリックします。</p>
 <p>“172.30.2.11”でのダウンロードを許可しますか？</p> <p>“Webサイト”環境設定で、ファイルをダウンロードできるWebサイトを変更できます。</p> <p>キャンセル 許可</p>	<p>「“172.30.2.11”でのダウンロードを許可しますか？」と表示された場合は [許可]をクリックしてください。</p>

『インストール』

	<p>[ダウンロード]をクリックします。</p>
	<p>[tmsminstall]フォルダをクリックして開きます。</p>
	<p>[tmsminstall.pkg]ファイルをダブルクリックします。</p>
	<p>この画面が表示された場合は、 [許可]をクリックします。</p> <p>※この画面が二度表示される場合は、 二度とも[許可]をクリックします。</p> <p>※OSのバージョンにより、ボタンが [許可]ではなく[続ける]の場合があります。</p>



“Apex One (Mac) Security Agent”をインストールするには、Rosettaをインストールする必要があります。今すぐインストールしますか？

Rosettaにより、Intelプロセッサを前提とした機能をAppleシリコン搭載のMacで実行できます。Rosettaの使用を開始するには、インストール後にアプリケーションを開き直す必要があります。

このソフトウェアを使用すると、ダウンロードしているソフトウェアに適用されるソフトウェア使用許諾契約に同意したものとみなされます。Apple製品のソフトウェア使用許諾契約の一覧は次をご覧ください: <https://www.apple.com/jp/legal/sla/>

今はしない

インストール

<Apple M1チップ搭載Macの場合>

「Rosetta 2」のインストールを促す画面が表示された場合は、[インストール]をクリックします。

※すでに「Rosetta 2」がインストールされている場合は表示されません。



インストーラがAppleソフトウェアをインストールしようとしています。

許可するにはパスワードを入力してください。

ユーザ名:

パスワード:

キャンセル

ソフトウェアをインストール

Macの管理者のユーザー名とパスワードを入力し、[ソフトウェアをインストール]をクリックします。

その後、「インストール済み」と画面に表示されることを確認したら、次に進みます。



このパッケージは、ソフトウェアをインストールできるかどうかを判断するプログラムを実行します。

このコンピュータのセキュリティを保護するには、必ず信頼できる提供元のプログラムやソフトウェアのみを実行したりインストールしたりしてください。このソフトウェアの提供元の信頼性を確信できない場合は、「キャンセル」をクリックして、プログラムの実行とソフトウェアのインストールを中止してください。

キャンセル

許可

この画面が表示された場合は、[許可]をクリックします。

※この画面が二度表示される場合は、二度とも[許可]をクリックします。

※OSのバージョンにより、ボタンが[許可]ではなく[続ける]の場合があります。



その後表示されるウィザードに従って、**[続ける]** をクリックします。

「大切な情報」が表示された場合は、記載内容を確認してください。

1. 既に同じインストールが動いてないか
2. 別のアンチウイルスソフトがインストールされていないか

1 あるいは2 に該当する場合は**[戻る]**でインストールを終了してください。

いずれにも該当しない場合は**[続ける]**をクリックします。



[インストール] をクリックします。

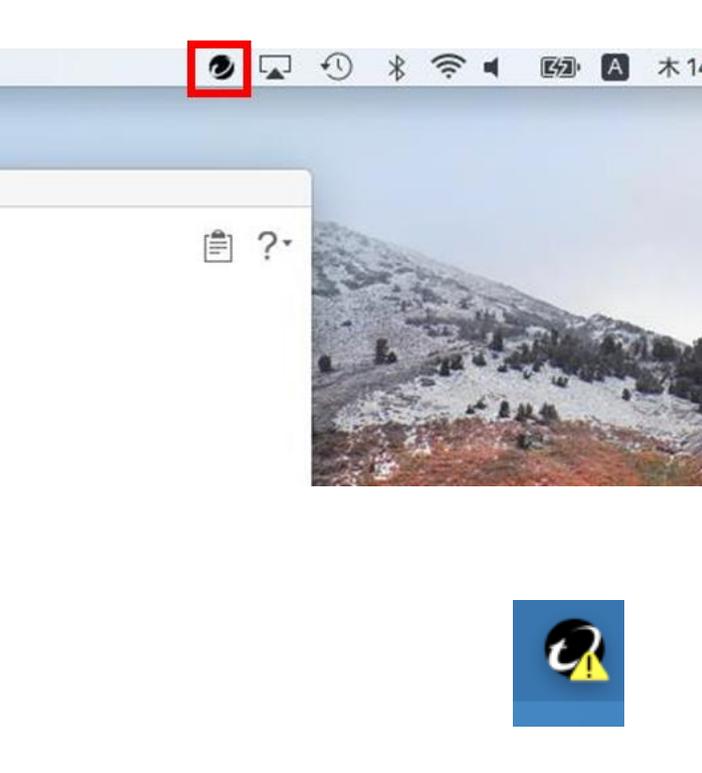


この画面が表示される場合は、**[ユーザ名]** と**[パスワード]** に、Mac の管理者ユーザーの名前とパスワードを入力後、**[ソフトウェアをインストール]** をクリックします。

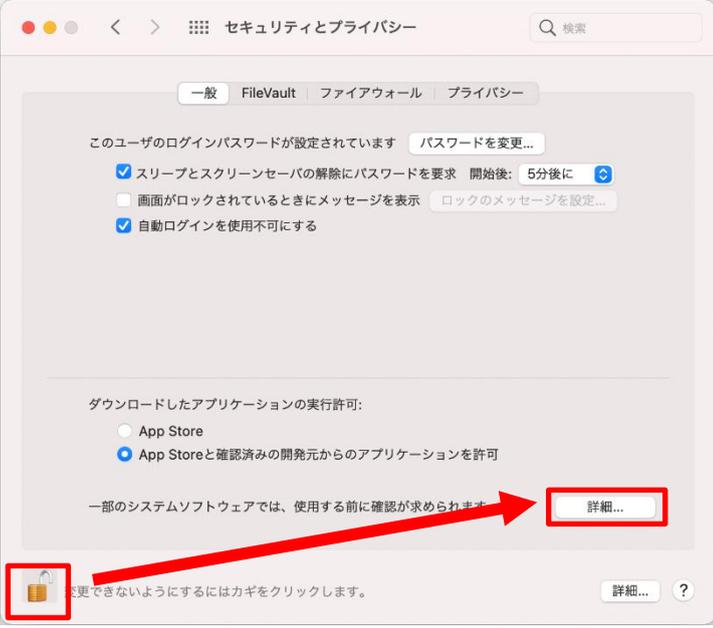
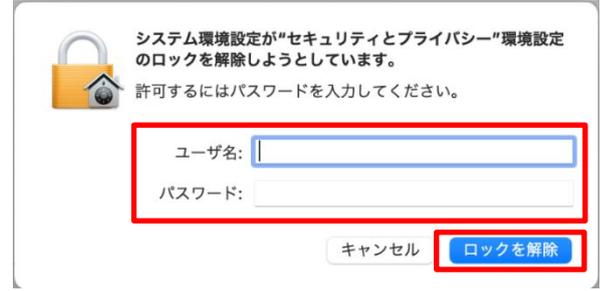


この画面が表示された場合は、**[OK]** をクリックします。

※ 「拡張機能がブロックされました」と表示された場合は、P.9「[インストールの途中で「拡張機能がブロックされました」と表示された場合](#)」の手順で操作を行ってください。

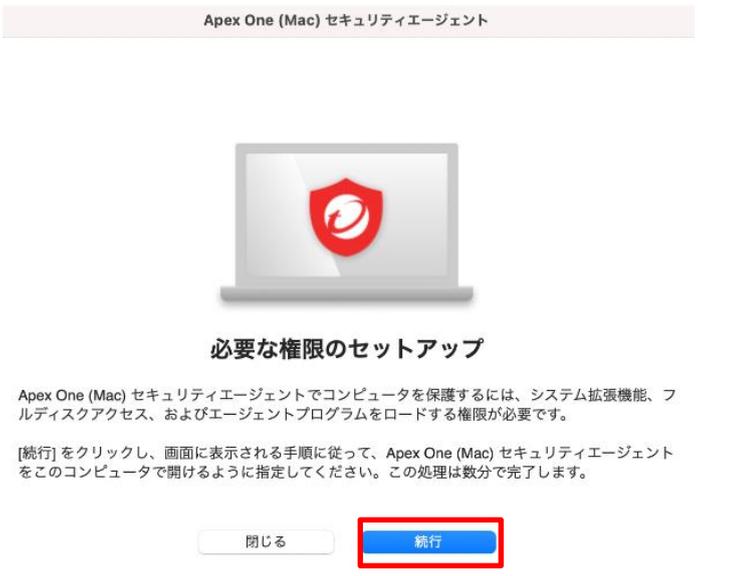
	<p>「インストールに成功しました」と表示されたら、[閉じる]をクリックします。</p>
	<p>この画面が表示された場合は、[OK]をクリックします。</p>
	<p>インストーラをゴミ箱に入れるか尋ねる内容のメッセージが表示された場合は、任意の選択肢をクリックします。</p> <p>(特に問題なければ、[ゴミ箱に入れる]を選択してください。)</p>
	<p>インストール後、Macを再起動してメニューバーにアイコンが表示されていることを確認します。左図のようにアイコンが表示されていたら、Trend Micro Apex One (Mac) のインストールは完了です。</p> <p>※アイコンが表示されていない場合は、Finder を起動し「アプリケーション」内に「Apex One (Mac) セキュリティエージェント」が表示されていることを確認してください。</p> <p>インストール完了後にアイコン上に警告(!マーク)が表示され、「必要な権限のセットアップ」画面が表示されている場合は、P.10の『権限の設定』に進みます。または、p.18「トラブルシューティング」をご覧ください。</p>

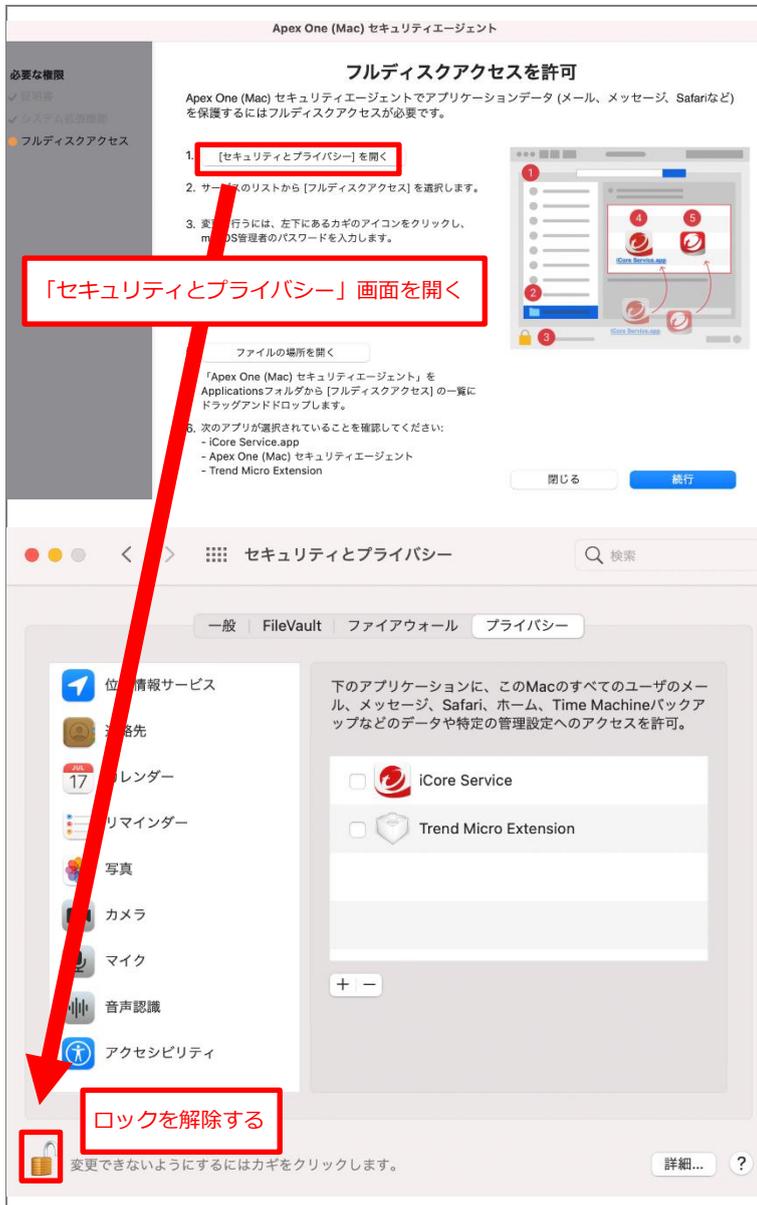
◆インストールの途中で「拡張機能がブロックされました」と表示された場合

	<p>インストール中もしくはインストール完了後、この画面が表示されたら、[「セキュリティ」環境設定を開く]をクリックします。</p> <p>この画面が二度表示される場合は、二度とも[「セキュリティ」環境設定を開く]をクリックします。</p>
	<p>「セキュリティとプライバシー」画面にてロックを外し、[詳細]をクリックします。</p> <p>ロックを外す際に、この画面が表示される場合は、[ユーザ名]と[パスワード]に、Macの管理者ユーザーの名前とパスワードを入力し、[ロックを解除]をクリックします。</p> 
	<p>2つの「iCore Service」にチェックを入れて[OK]をクリックします。</p> <p>※この画面で「iCore Service」にチェックが入っていないと、Trend Micro Apex One (Mac)の起動後に「セキュリティ権限が必要」とメッセージが表示されます。</p>

	<p>[許可]をクリックし、「セキュリティとプライバシー」の画面を閉じます。</p> <p>P.8に戻り、「インストールに成功しました」の画面が表示されていることを確認します。</p>
---	--

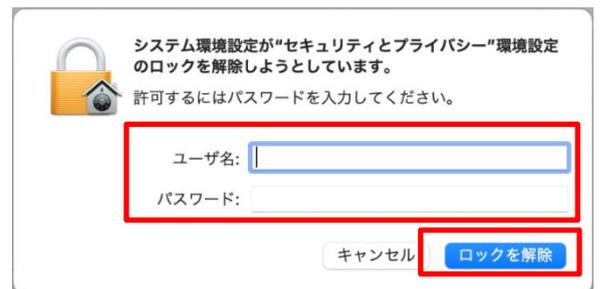
『権限の設定』

	<p>Trend Micro Apex One (Mac) のインストール後にアイコン上に警告が表示され、「必要な権限のセットアップ」画面が表示されている場合は、[続行]をクリックします。</p>
	<p>「システム拡張機能を許可」の画面で、[続行]をクリックします。</p>



「フルディスクアクセスを許可」の画面で、
[セキュリティとプライバシーを開く]を
クリックし、「セキュリティとプライバシー」
画面のロックを解除します。

※ロックを解除する際に、以下の画面が
表示された場合は、[ユーザ名] と
[パスワード] に、Mac の
管理者ユーザの名前とパスワードを
入力し、[ロックを解除]をクリックします。



Apex One (Mac) セキュリティエージェント

フルディスクアクセスを許可

Apex One (Mac) セキュリティエージェントでアプリケーションデータ (メール、メッセージ、Safariなど) を保護するにはフルディスクアクセスが必要です。

- [セキュリティとプライバシー] を開く
- サービスのリストから [フルディスクアクセス] を選択します。
- 変更を行うには、左下にあるカギのアイコンをクリックし、macOS管理者のパスワードを入力します。
- ファイルの場所を開く
「iCore Service.app」ファイルを選択し、[フルディスクアクセス] の一覧にドラッグアンドドロップします。
- ファイルの場所を開く
「Apex One (Mac) セキュリティエージェント」を [アプリケーション] フォルダにドラッグアンドドロップします。
- 次のアプリケーションを選択
- iCore Service.app
- Apex One (Mac) セキュリティエージェント
- Trend Micro Extension

閉じる 続行

「フルディスクアクセスを許可」の画面に戻り、5.[ファイルの場所を開く]をクリックし、「アプリケーション」フォルダから「Apex One(Mac)セキュリティエージェント」をフルディスクアクセスの一覧にドラッグアンドドロップします。

セキュリティとプライバシー

FileVault ファイアウォール プライバシー

下のアプリケーションに、このMacのすべてのユーザーのメール、メッセージ、Safari、ホーム、Time Machineバックアップなどのデータや特定の管理設定へのアクセスを許可

iCore Service

Trend Micro Extension

よく使う項目

AirDrop

最近の項目

アプリケーション

デスクトップ

書類

Apex One (Mac) セキュリティエージェント

App Store

ドラッグアンドドロップ



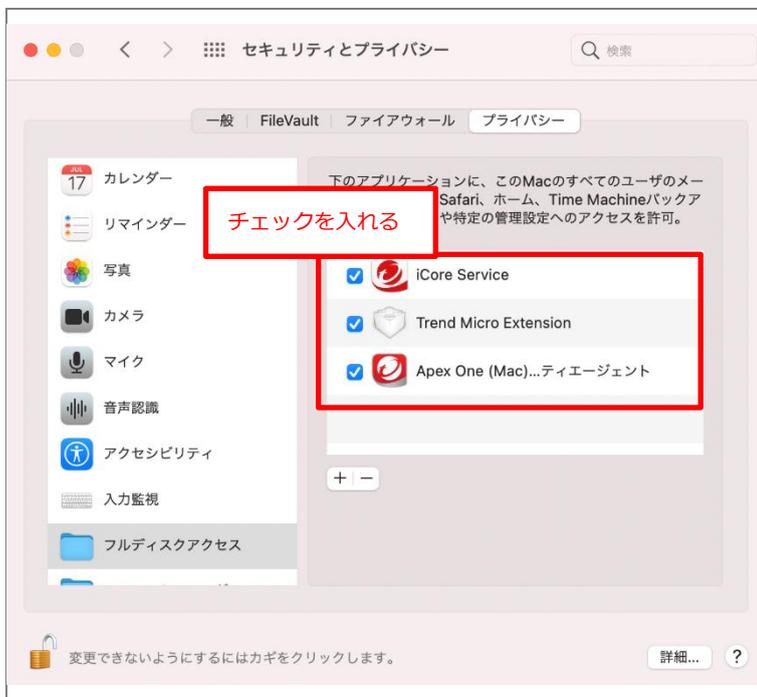
“Apex One (Mac) セキュリティエージェント”には、終了するまでフルディスクアクセスがありません。

“Apex One (Mac) セキュリティエージェント”を今すぐ終了するか、あとで自分で終了するかを選択できます。

終了して再度開く

あとで行う

“Apex One(Mac)セキュリティエージェント”には、終了するまでフルディスクアクセスがありません」という画面が表示された場合は、[あとで行う]をクリックして元の画面に戻ります。



- iCore Service
- Trend Micro Extension
- Apex One(Mac)セキュリティエージェント

上記が表示されていることを確認し、3つすべてにチェックを入れます。



「“iCore Service”には、終了するまでフルディスクアクセスがありません」という画面が表示された場合は、[あとで行う]をクリックして元の画面に戻ります。

「セキュリティとプライバシー」画面と「アプリケーション」フォルダーを閉じます。



「フルディスクアクセスを許可」の画面で[続行]をクリックします。

	<p>「Apex One(Mac)セキュリティエージェントを再起動して変更を適用する」という画面が表示された場合は、[OK]をクリックします。</p>
	<p>Apex One (Mac) セキュリティエージェントが自動的に再起動します。</p> <p>※再起動に時間がかかる場合があります。</p>
	<p>Apex One (Mac) セキュリティエージェントの再起動後、「保護が有効」となっていることを確認します。</p> <p>引き続き、インストール完了後にアイコン上に警告(!マーク)が表示されている場合は、p.18「トラブルシューティング」をご覧ください。</p>

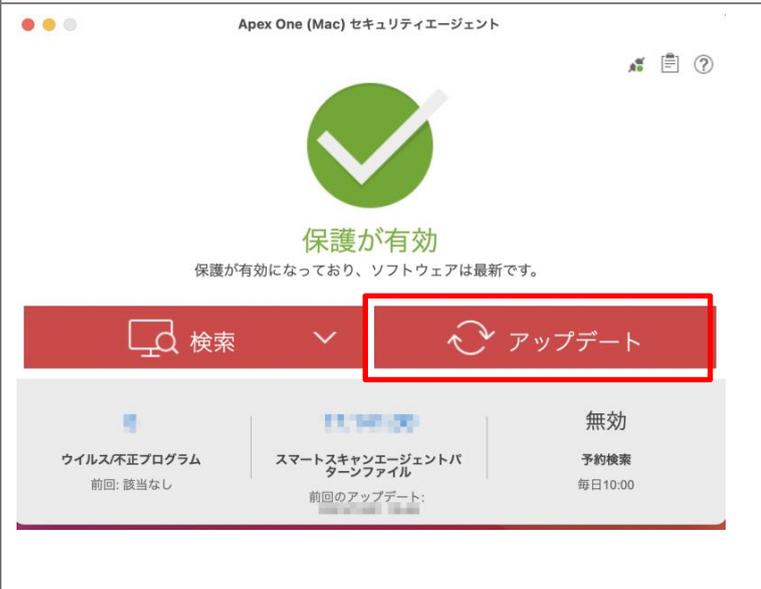
2.2 Trend Micro Apex One (Mac) のアップデート

※Trend Micro Apex One (Mac) のアップデートは、自宅など学外ネットワークからでも可能です。

学内の Trend Micro Apex One (Mac) サーバーと通信できない場合は、トレンドマイクロ社のサーバーから最新のウイルスパターンファイルなどを含むコンポーネントを取得する仕組みとなっています。

インストール後の手動アップデート以降、Mac がインターネットに接続した状態であれば、Trend Micro Apex One (Mac) は自動でアップデートされます。

【Trend Micro Apex One (Mac) の手動アップデート手順】

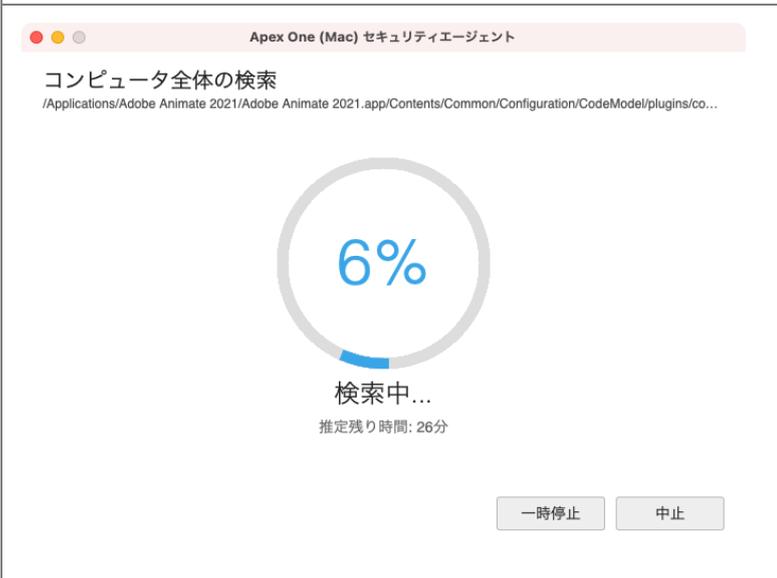
	<p>ネットワークに接続した状態で、メニューバーのTrend Micro Apex One (Mac) アイコンをクリックします。</p> <p>表示された画面にて [セキュリティエージェントコンソールを開く] をクリックします。</p> <p>※「保護が無効」と表示されている場合は Mac を再起動してください。</p> <p>※「上位サーバに接続できません」と表示されている場合は、そのまましばらくお待ちください。</p>
	<p>[アップデート] をクリックすると、ウイルスパターンファイルなどを含むコンポーネントのアップデートが開始されます。</p> <p>完了するまでお待ちください。</p>

<p>Apex One (Mac) セキュリティエージェント</p> <p>アップデート</p> <p>アップデートが完了しました</p> <p>コンポーネントの詳細を表示</p> <p>OK</p>	<p>「アップデートが完了しました」または、「コンポーネントはすべて最新です」と表示されましたら、[OK]をクリックします。</p>
--	--

3 Trend Micro Apex One (Mac) の利用について

3.1 ウイルススキャン

インストール後、定期的に手動でウイルススキャンすることをおすすめします。

	<p>メニューバーのTrend Micro Apex One (Mac)アイコンをクリックし、[セキュリティエージェントコンソールを開く]をクリックします。(P.15 参照)</p> <p>表示された画面にて[検索]をクリックします。</p>
	<p>メニューから、[コンピュータ全体の検索]をクリックするとスキャンが開始します。</p>
	<p>スキャンが完了するまでお待ちください。</p>

3.2 Trend Micro Apex One (Mac) のライセンス認証について (年1回)

年に1回、Trend Micro Apex One (Mac) をインストールした PC を学内ネットワーク (KGU-WLAN 等) に接続してください。

自動で Trend Micro Apex One (Mac) サーバーと通信し、認証が完了します。

※年1回の認証ができていれば、次回認証の時期まで Trend Micro Apex One (Mac) サーバーと通信する必要はありません。学内ネットワークに接続しなくても Trend Micro Apex One (Mac) は利用できます。

4 トラブルシューティング

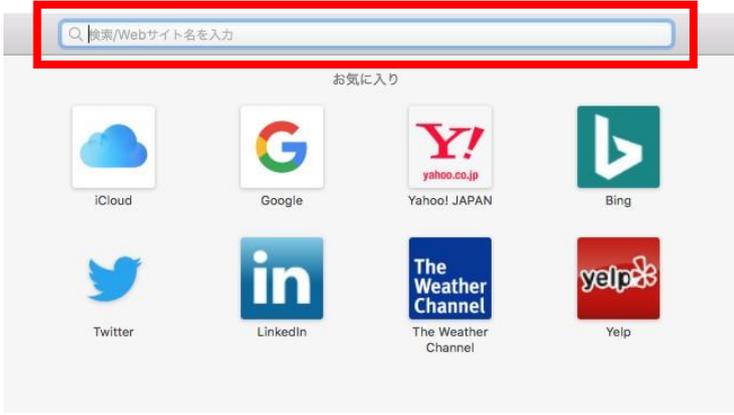
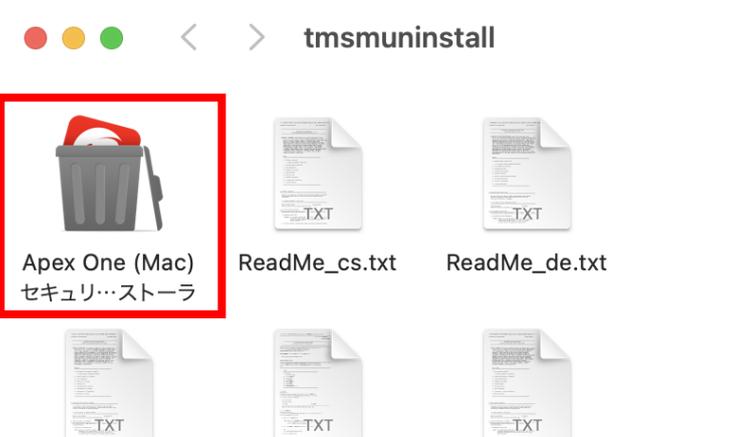
以下のいずれでもないメッセージが表示されている場合、また、以下の手順を試しても改善されない場合は、p.22「[お問い合わせ](#)」に記載されている窓口まで、お問い合わせください。

 <p>The screenshot shows the Apex One (Mac) Security Agent window. At the top, it says 'Apex One (Mac) セキュリティエージェント'. Below that, there is a yellow warning icon and the text 'セキュリティ権限が必要' (Security privileges required). A button labeled '詳細を表示' (Show details) is visible. At the bottom, it says '製品情報:' (Product information:).</p>	<p>「セキュリティ権限が必要」というメッセージが表示されている</p> <p>p.10の「権限の設定」の設定が完了しているかご確認ください。</p>
 <p>The screenshot shows the Apex One (Mac) Security Agent window. At the top, it says 'Apex One (Mac) セキュリティエージェント'. Below that, there is a yellow warning icon and the text 'サーバに接続できません' (Cannot connect to server). Underneath, it says '接続を確立中です。問題が解決しない場合は、ネットワーク接続を確認してください。' (Establishing connection. If the problem does not resolve, please check the network connection.).</p>	<p>「サーバに接続できません」というメッセージが表示されている</p> <p>Apex One (Mac) セキュリティエージェントの再起動後、「サーバに接続できません」と表示される場合がありますが、ネットワークに接続したまま、しばらくお待ちいただくと、「保護が有効」となります。</p> <p>もしくは、p.15の「Trend Micro Apex One (Mac) のアップデート」を行うことで、「保護が有効」となります。</p>

5 Trend Micro Apex One (Mac) のアンインストール

インストール完了後に、Trend Micro Apex One (Mac) が起動しない、「保護が無効」や「上位サーバに接続できません」などのメッセージのまま回復しないなどのトラブルが生じた際に行ってください。

また、離職や卒業などにより本学を離れる場合も、アンインストールを行ってください。

	<p>Safari を起動し、画面上部のアドレスバーに以下のURLを入力して[Enter]キーを押します。</p> <p>https://172.30.2.11:4343/officescan/console/html/TMSM_HTML/ActiveUpdate/ClientInstall/tmsmuninstall.zip</p> <p>※インストールの際のアドレスとは異なります。</p>
	<p>[ダウンロード]フォルダーを開き「tmsmuninstall」フォルダーをクリックします。</p>
	<p>[Apex One(Mac)セキュリティエージェントアンインストーラ]をダブルクリックします。</p>

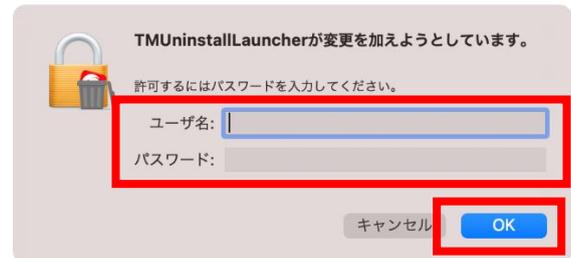


「インターネットからダウンロードされたアプリケーションです。開いてもよろしいですか?」という画面が表示された場合は、
[開く]をクリックします。



「“Finder”を制御するアクセスを要求しています。制御を許可すると“Finder”の書類やデータにアクセスしたり、そのアプリケーション内で操作を実行したりできるようになります」という画面が表示された場合は、 [OK]をクリックします。

※以下の画面が表示された場合は、
[ユーザ名] と[パスワード] に、Mac の管理者ユーザーの名前とパスワードを入力し、 [OK]をクリックします。



「Apex One(Mac)セキュリティエージェントのアンインストール」画面が表示されましたら、
[アンインストール]をクリックします。



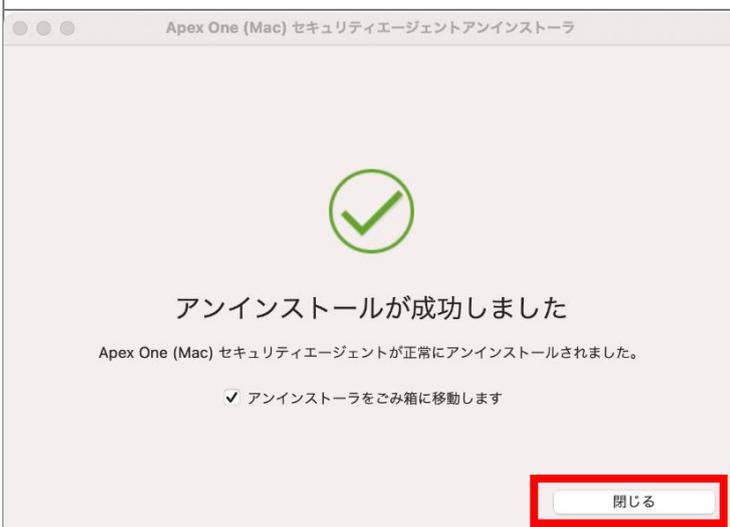
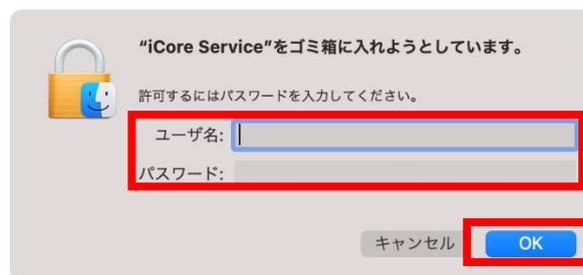
アンインストールの際に、アンインストールパスワードの入力が求められる場合は、[キャンセル]をクリックしてアンインストーラの画面を閉じ、[Apex One(Mac)セキュリティエージェントアンインストーラ]を開きなおします。

※アンインストーラを再度開いた際に、[ユーザ名]と[パスワード]の入力が求められた場合は、Macの管理者ユーザーの名前とパスワードを入力し、[OK]をクリックします。



「機能拡張は削除されます」という画面が表示された場合は、[続ける]をクリックします。

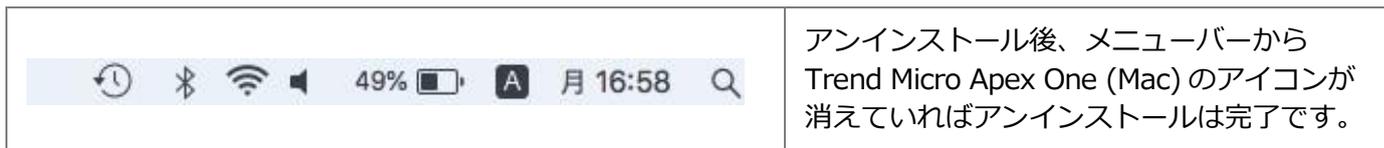
※[続ける]をクリック後、[ユーザ名]と[パスワード]の入力が求められた場合は、Macの管理者ユーザーの名前とパスワードを入力し、[OK]をクリックします。



「アンインストールに成功しました」と表示されたら、[閉じる]をクリックします。

※「アンインストーラをごみ箱に移動します」にチェックを入れて、[閉じる]をクリックすると、アンインストーラがごみ箱に移動されます。

アンインストール後の確認



お問い合わせ

ご不明な点につきましては、下記ヘルプデスクにご相談ください。

<西宮上ヶ原キャンパス>

- | | | |
|-----------|---------------|---------------|
| ・第4別館 | 1階 第1PC サポート室 | (内線：61-31331) |
| ・メディア・研究棟 | 1階 第2PC サポート室 | (内線：61-31333) |
| ・大学院棟 | 1階 第3PC サポート室 | (内線：61-31334) |

<神戸三田キャンパス>

- | | | |
|-------|-----------------|--------------|
| ・VI号館 | 2階 PC 相談カウンター | (内線：62-2104) |
| ・VI号館 | 3階 PC 利用相談カウンター | (内線：62-2105) |

<西宮聖和キャンパス>

- | | | |
|------|---------------------|--------------|
| ・6号館 | 4階 情報メディア室/PC サポート室 | (内線：66-2900) |
|------|---------------------|--------------|

<大阪梅田キャンパス>

- | | | |
|-----------|---------|------------|
| ・アプローチタワー | 14階 事務室 | (内線：63-25) |
|-----------|---------|------------|